

幻影に遊びえるマレー當局の狂奔騒ぎを左の通り傳へてゐる
シンガポールを中心マレー聯邦を固める英國の防備は益々嚴重を極め最近ではマルタ島、ジブラルタルから間断なく増兵が到着しており、これとともに高射砲陣も各地に整備され防空壕の増築も先週の間に出来がつた、防空訓練としては燈火管制所が過般七日間に亘つて行はれた、又住民は萬一に備へて安全と思はれる寒村に續々移住し始めた
馬來總警放送

シンガポール【六・三】トマス・マレー總督は三日の對獨宣戰布告二周年記念日に際しラジオを通じてマレー防衛軍の増強を發表する同時に極東情勢に關して次の如き演説を行つた

「印度軍歩兵部隊及び牽引車砲を有する英砲兵部隊増援隊が最近新しくマレーに到着マレーの防備は愈々強化されることになつた、歐洲戰爭の第二年目たる本年は情勢が重大危機を孕むことにならうと思はれるわれくは平和を熱望してゐるがこの平和は侵略に對し断乎たる共同戦線を結成することによつてのみ保障される、しかし現在の日本の南進の状勢から推してマレーの平和が果して永久的に繼續され得るか否かは甚だ疑問といふべきであらう」

シンガポール【六・四】マレーのトマス總督は四日のラジオ放送に於て日本本の南進を誇張して全住民の結束を一步我々に近づいて居る、日本の南

部佛印進駐部隊はタイ國境に近く、
つ日本は自ら権輿の一員と宣したで
はないか、此等は事實であり之を無
視することは出来ぬ、マレー全民は
斯る事態に備へ犠牲挺身の覺悟を
する」

マレー防備にグルカ兵

シンガポール【九・六】マレー當局は
國防強化のためインド兵、濱洲兵を
以て駐屯軍を編成したが六日當局の
発表によれば今回更にネバールのグル
カ族をこれに加へた、既にその先
遣部隊として數千名のグルカ山岳部
隊は去る三日ヒマラヤからシンガポ
ルに到着した

星港に新鋭爆撃機到着

シンガポール【九・六】シンガポール
を基地とする英極東軍は最近特に増
強されつゝあるが八日更に多數の爆
撃機が英本國から到着した旨マレー
政廳で左の如く發表した

今回最新式ブリストル・ブレンハ
ム型爆撃機が「多數」到着した
これはマレー半島を基地とする英
空軍の戦闘力を増強する目的を有
するものである

英極東空軍は現在ロツクヒード・ハ
ドソン型爆撃機ペルウスター・バツ
ファロー型戦闘機カタリナ型飛行船
等を以て編成されて居り、これらは
何れも米國から供給されてゐる、又
戦闘機の操縦者は大半と濱洲兵をも
つて補充して來たのであるが、今回
英本國から新鋭爆撃機を多數輸送し
て來たことは極東軍の戰時態勢が本
格化したものとして注目される

シンガポール【九・六】シンガポール
政廳は九日最新型ブリストル・ブレ
ンハイム爆撃機が多數シンガポールル
に到着した旨公表した、マレー地盤

の英空軍の飛行機は從來これを米國から購入してゐたが今回シンガポールに到着した飛行機は全部英國製でその資材は英本國、オーストラリア並びにニージーランドで生産され尙ブレンハイル爆撃機の高度一萬五千呎における最高速度は三百哩で主翼の前方に胴體が著しく長く突出してゐるのが特色である

マレー軍管地域擴大

シンガポール【九・九】 極東基地防備強化に奔走しつつあるマレー政廳は九日南支那海に面するマレー沿岸防備區域をシンガボール北方二百哩以上 の地點にまで擴大し、バハング地方東部沿岸地帶全部を軍管理下に置く旨を布告した、これにより南支那海に注ぐマレーの主要なる河川の河口地區はことごとく軍管理下に置かることとなつた

ダフ・クーパー星港着

シンガボール【九・九】 ランカスター公領尙書ダフ・クーパー氏は九日マニラよりシンガボールに到着したダフ・クーパー英ランカスター公領尙書は九日夜記者團との會見で次の如く語つた

「余はマレーの内政問題乃至防備に關心を有してゐない、余の使命は政治問題處理のための政府代表乃至は機關設置の可否を検討しその結果を本國に齎して最後決定に資するにあら、余が重慶に行くかどうかについては何も決つてゐない、極東情勢については余は日本のこれ以上の進出に對しては重大關心を持つてゐる」と

マレー標準準時線上げ
タ
泰國平和提案を發表
バンコック〔九・二〕泰國
外務副大臣ルアン・チビツ
ト氏は二日の外國記者團と
の會見席上、泰國の平和提案は二日
後其の要旨をラジオで放送し三日を期して
その成文を外國公使館に手渡す旨發表した
した、此の平和提案は同氏の言明によると
政治的なものではなく佛教の宗
教的見地から出たものであり、各交
戦國政府にその主旨を徹底せしめる
と同時に各國の宗教、教育團體に
呼びかけ、動亂の世界を平和に救ひ
上げたいと云ふ泰國の意圖を表明し
たものである
泰國議會臨戰法案可決
バンコック〔九・三〕泰國政府は本日
ビブン首相を海・空軍名譽最高司令官
に任命する旨を發表、またさきの東京會議に代表として出席したバ
ン・スリヤノンダ少佐は首相秘書官に
チツタセン・パンチャ氏は副内閣
書記官長に夫々任命された
一、國民は戦時の敵侵略に對抗する
化に對應する爲め、泰國議會は四日
一、叛逆罪は死刑に處す
一、國民は

▲泰國臨戰體制強化 バンコツク
【六・二】泰國內における臨戰體制の強化はわが軍佛印和平進駐、英、兩軍イラン侵入以來急速調を以て進展してゐる即ち去る四日議會は三臨戰法律を可決した、政府はこれと前後してバンコツク市の要所に防空壕の建設工事に着手すると共に工務部からは泰全土の河川に碇泊する泰國船舶に對し燈火管制の準備を命じたばかり、ビルマ方面よりの英、蔣兩軍の脅威に對しても國境方面に防禦施設を構築豫備兵を動員して兵力を増強しつゝある、一方國民の思想的動員にも積極の方針の採用を決定したものゝ如くビアン首相は七日午後佛印國境紛争事件に名譽の勳功を樹てた三名の將兵の表彰式に臨みこれが功勞を讃へたのち輝かしき歴史を有する泰國は今や外敵の侵入に對し斷乎これを排除するの新たなる決意を固めた、われわれは國際的に最も不安な時代をあくまで生き抜き泰國を護ねねばならぬ、と兵士を鼓舞激励、またブライニン文部次官は去る六日の全國教育者大會に於いて泰國の現状を説明今や小學兒童と雖も眞意が理解されずに時態が悪化した時に我らは最後の一人に至るまでこれに抗して戰ふべきだ、と教育者の奮起を促した、更にラサニヨム運動本部は九日午後會議を開き労働能率の三ヶ條より成る臨戰法案を可決した